

触媒学会会長候補者「経歴と会長としての抱負」

1) 候補者指名

江口浩一

2) 生年月日

1956年10月23日

3) 略歴

1984年 九州大学総合理工学研究科 博士課程修了

1984年 九州大学総合理工学研究科・助手

1986年 九州大学総合理工学研究科・助教授

1998年 九州大学総合理工学研究科・教授

2000年 京都大学工学研究科・教授（現在に至る）

この間1998年～2002年 東京大学工学系研究科 併任

2013年～現在 科学技術振興機構 戦略的研究推進事業

「エネルギーキャリア」研究統括 併任



4) 所属・職位

京都大学工学研究科・教授

5) 専門分野

環境触媒、燃料変換触媒、燃料電池、固体化学

6) 受賞歴

1990年 日本化学会進歩賞

2012年 触媒学会 学会賞（学術部門）

2014年 石油学会 学会賞

7) 会長としての抱負（350字程度）

触媒の化学工業における重要性は認識されていますが、エネルギー問題や環境問題、石油化学体系の変化など触媒を取りまく状況は変化しつつあり、情報を交換し発信する場としての触媒学会の重要性はますます増していくものと考えられます。触媒が関連する境界領域は拡大していますが、それらの境界領域に対して触媒学会は積極的かつ柔軟に取組み、中心的な役割を演じ、創造的なイノベーションを発信していく舞台へと発展させる必要があります。また、触媒の開発及び分野展開に加えて、学会としての役目である触媒科学の学理としての重要性を尊重する立場を堅持し、触媒を専門とする科学者、技術者の育成の場としても機能するよう努めます。さらに、日本の触媒技術、触媒研究を国際的に発信するよう触媒学会が機能していく必要があると考えます。